

通信 シルバー秩父

平成29年11月20日号

就業報告書について

就業が完了した際には、会員はセンターに「就業報告書」を提出します。就業報告書とは、会員が仕事の完成・遂行についてセンターに書面で報告するもので、請負契約であれば仕事の完成時に発注者の確認を得たうえでセンターに提出します。確認印のない報告書が時折、見受けられますが、報告書としては要件を満たしておらず、受け入れられません。また、チェックリストも同様に、必ず記入してください。

勤務実績通知書・派遣元への通知書

派遣での就業の場合は「勤務実績通知書」を会員がセンターに報告します。派遣での就業の場合は請負での就業と異なり、ますので、日々発注者の確認を得たうえで、月ごとにセンターに提出します。就業報告書及び勤務実績通知書は、配分金(賃金)計算の基礎となる大切なものですから、その作成に当たっては留意してください。

バザー収益金を市に寄付

9月10日に開催した第10回シルバーまつりのバザー等の売上金から経費を差し引いた4万4888円を地域の社会福祉活動事業活用のため、10月27日に秩父市に寄付しました。



日光市SCCが視察で来秩

9月26日、栃木県の日光市シルバー人材センター役員17名が来訪し、交流研修を実施しました。当シルバーから理事・監事が対応し、概要説明をはじめ、手作りまんじゅう等の独自事業、ファミリースポーツ事業、農園事業など約2時間に亘る話し合いとなりました。

いきいきフェスティバルに参加

10月22日、今年も県民活動総合センターにおいて開催された

イベントに参加しました。



まんじゅう・シルバー農園で採れた野菜の販売や折り紙釣りを出店し、センターのPR活動を行いました。台風により、人が少なめだったにも関わらず、まんじゅうは午前中で完売、野菜もほぼ完売となりました。

ゴミ拾いボランティア

日時 12月4日(月) 午前8時
集合 福祉女性会館
※福祉女性会館から秩父神社まで行います。希望者は12月1日(金)までにお申し込みください。

囲碁・将棋クラブ 日程

日時 1月13日、27日、2月17日、3月3日、24日、4月14日、28日 いずれも土曜日 午後1時～5時

会場 福祉女性会館第5会議室

植木剪定研修

日時 12月4日(月)

午前9時～午後4時

会場 秩父市下水道センター

内容 松の剪定他

受講者 会員30名程度

※当日は、作業のできる服装で、剪定道具、梯子、弁持持参のこと。剪定道具のない方は貸与します。雨天の場合は5日に順延します。

農園班がお祭り用野菜を販売

日時 12月1日(金)

午前9時～11時

場所 福祉女性会館横
無人野菜販売所

親睦会新年懇親会のご案内

日時 平成30年1月16日(火)

午後6時

会場 農園ホテル

※会費を含め詳細は後日お知らせします。

新会員紹介

次の方たちが新しく仲間になりました。よろしくお願ひします。(敬称略)

九月

井出安和 宮谷ゆき恵 富田房男

酒井悟志 原島雄一 若林仲吉

岸 達男 永田貞夫 井野賢一

十月 山口茂々子 坂本町子 堀口 清

柳原京子 坂本初美 内田ヒロ子

就業の提供に関する基準

センターでは基準を定め、次の事項に抵触する行為が発生した場合、就業を停止させることができるかとされています。

・就業先でトラブル
・守秘義務違反
・発注者及びセンターの名誉を損ねる行為
・センターの指示を無視
・発注者及び会員同士の金銭の貸し借り
・就業に重大な苦情や相当な過失がある
・シルバーの趣旨に反する行為
・法令違反

この中で重大な苦情とは、例えば、利用者から対応の悪さを指摘され、利用者から罵声を浴びせる等、会員として看過できない行いにより苦情が発生した場合が該当します。また、金銭の貸し借りは、シルバーの信用に抵触し、トラブルになりかねない行為なので、会員同士であっても行ってははいけません。

会員の一人一人がシルバー人材センターの看板を背負っているとの自覚をもって就業に対応してください。

中期基本計画の目標 ⑤

3月に策定した同計画の内容についてシリーズで説明していきます。今回はその5回目です。

テーマ **組織の強化 事務局の活性化**

性化

事務局は、センターの事務部門を統括するとともに、事業を円滑に運営するための情報発信の基地である。理事会を中心とした組織運営や事業運営に的確に連動して実務処理を行うことがセンターの発展・拡充に大きく寄与するものである。

事務の中心はセンター管理のほか、雇用関係に因らない就業及び派遣を通じての労働能力を活用する就業需給システムの適正な運営である。さらに、受託（独自）及び派遣事業の管理、会計処理など、一連の事務処理に当たっては、センターの理念を念頭に置いて進めることが必要である。

補助金の削減などにより人件費の確保が困難となっている中、事務局職務の合理化・効率化及び職員の能力向上を進めていくことが重要である。

事業の拡充期に採用した職員が、数年後に定年を迎えることから、事業の継続、財政状況を勘案しつつ、プロパー職員の採用について7年から10年程度のスパンで行い、年齢構成の均一化を図る。

再雇用制度の実施により、有期契約職員の活用と合わせ効率的な事務局運営を図る。

会員だより

越生にある

秩父札所等巡拝碑

関根 敏

入間郡越生町の「梅」と「つじ公園」があるのは有名な話で承知しておりましたが、情報を耳にして「五大尊」境内と隣接の「五大尊つじ公園」に秩父札所等「百観音霊場」と「四国八十八か所霊場」の写し「鈴木金兵衛の巡拝碑」があるというので、行って確認し拝観することにした。

聞くところによると、同町出身の豪商金兵衛は江戸に出て、古帳類買入所（古紙回収業）で財を成した。

一方、全国の霊場を巡回し、各地に「古帳庵」等の俳号で句碑を残している。「巡拝碑」に戻るが、一八四五年から石碑の建立を始めたが、一〇四其中断したままになっていた。百観音と四国霊場を合わせると一八八基で、残る八四其を二〇一五年から二か年で町は補完歴史資料として整備した。

当時、大量の石碑は荒川を遡り、新河岸川に入り舟運で川越まで運ばれ陸路約20kmを人馬で運ぶ大事業だった。

碑には表に札所番号や梵字、弘法大師像などを彫り、裏には江戸商人や越生近郊の村人などの寄進者の名前が刻まれた。

この秩父札所の石碑を秩父谷以外の所で見ると感慨深いものがある。それから町の人の話によると「なぜ事業が中断したのか、金兵衛に何があったのかは、分かっていません。本人は何処で何年に亡くなったのかも謎のままです。」と言う。

ちなみに「五大尊」は秩父では、あまり馴染みがないので紹介したい。密教系の仏で「不動明王」を中心に、東に烏摩妃（うまひ）を踏み降ろす「降三世（こうさんせい）明王」、南は蛇身を纏う「軍荼利（ぐんたり）明王」、西は六面六足の「大威徳（だいいとく）明王」、最後は北に三面五銀の「金剛夜叉（こんごうやしや）明王」の各像が安置されているのである。

当時代の霊場に対する熱意と一度は見ておきたい貴重な文化財の内容に感銘を受けた。

現在はシルバーガイド班で、会員の皆様に、大変お世話になっております。

原稿を募集しています。テーマは自由。あなたの日頃の思いを書いてみませんか。